

荻浜中 学校自慢新聞について

○「はまなす学習」という地域性を活かした体験活動で学んだ荻浜地区の浜辺環境の現状と、今後きれいな環境を守っていくためにみんなで心掛けていきたいことなどを教えてください。

⇒雨や風の影響により、土砂が磯場にたまり海藻が育たない現状がある。実際に、はまなす学習の日に風が強く、巻き上げられた砂のために海底が見えませんでした。また、風に流されたゴミが特定の浜にたまり、片付けが大変です。現状を踏まえ、ごみ拾い活動や、CO²の削減に向けた取組を学び実行しています。

○生徒数が少ない中、工夫をして楽しい学校行事を作り上げているという印象を受けました。大変な部分もあると思うのですが、どんな喜びや苦労がありましたか？

⇒苦労は、仕事量が多く生徒一人一人の負担が大きいことです。その分、行事を成功させたときには、喜びが大きいです。周りの皆から温かい言葉をかけてもらい、苦労をしながらも頑張ったかいがあったと思いました。また、お互いに励まし合ったり、お礼の言葉をきちんと伝えたりすることなどで、関係性が深まり、次の活動のしやすさにつながると感じました。

○地域の方々から様々な協力をいただきながら学習や学校行事に取り組んでいるということですが、その中で印象的だったものがあれば聞かせてください。

⇒皆さんから、獅子風流を絶やさずに続けてほしいという声があり、地域の方々から教えてもらいながら続けています。一日がかりで、学区内の月の浦から福貴浦までの浜で披露してきました。

⇒「はまなす学習」で色々教えていただいたことのうち、地元の海について関心が高くなりました。地元の海が今までと違ってきていることが分かり、心配しています。



○一人一人が生徒会テーマを意識しながら学校を盛り上げていこうという気概が感じられました。学校を今後もっと盛り上げていくために、今後、こういうところを伸ばしていきたいという考えがあれば聞かせてください。また、荻浜中学校はどんな学校ですか。

⇒学校全体で取り組んでいることを、地域内にも広め、学校の取組をアピールしたいと思っています。また、今後は一人一人がコミュニケーション力を身に付け、友達に思いやりのある接し方をしていきたいと思っています。

⇒荻浜中学校は、「自然豊かで、皆が協力し合える学校」です。